



# 霧が丘

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kirigaoka/>  
E-mail: y3kiriga@edu.city.yokohama.jp

横浜市立小中一貫校  
霧が丘小中学校（小学校）  
平成 27 年度通算第 216 号  
平成 27 年 8 月 28 日発行  
児童数 662 学級数 22

## 子どものものさし

准校長 宇都宮 桂

校庭に、校舎内に子どもたちの元気な声が返ってきました。やはり学校には子どもたちの元気な声や笑顔が似合います。学校の主役はやっぱり子どもたちですね。

今年も猛暑の夏休みでした。熱中症対策が叫ばれ、ご家庭でも子どもたちの健康管理にご配慮をいただいていると思います。しかし、少しずつ秋の気配が感じられるようになり、まだまだ暑い日が続くかと思いましたが、朝夕は過ごしやすい季節にもなってきました。

さて、夏休みの7月下旬には、特別水泳クラブや学年水泳、特別音楽クラブの練習があり、多くの児童が参加し、自分の力を伸ばそうと努力していました。また、緑区小学校水泳大会（7月29日十日市場小会場）、横浜市小学校水泳大会（8月25日横浜国際プール）がありました。区水泳大会には4年生以上の54名が参加し、三保小、十日市場小の子どもたちといっしょに泳ぎました。また、市水泳大会には7名が区の代表選手として参加しました。どちらの大会も、競泳を通して親睦を深めたり、水泳の楽しさや喜びを味わったりすることができました。

また、夏休みに入ってからすぐの7月17、18日に、霧が丘連合自治会主催の「盆踊り大会」にも子どもたちは参加しました。小学生19名が御神輿を担いだり、小学生57名、中学生41名、成人の方も一緒に「霧が丘ソーラン」を踊ったりしました。地域行事に参加させていただき、地域への愛着と誇りが益々深まったようです。地域の皆様ありがとうございました。

子どもの数だけ、いろいろな夏休みがあったわけです。保護者の方は「もっと勉強してほしい」「どこかへ連れて行ってあげたかった」「少し遊びが多かったかな」等、様々な思いがあると思います。しかし、勉強があまり進まなかった子も、遊びが多かった子も、この夏休みを経て心も体も成長したと思います。40日間もあれば、大きな成長を望まれることも分かりますが、少しの変化にも気づき「成長したね」「〇〇がんばったね」と子どもを認めることで、子どもの「やる気」はグッと伸びてくると思います。

その際、私たち大人は「大人のものさし」で子どもをはかってしまうことが多いかもしれません。しかし、子どもは子どもの基準で「褒められたい」と思っています。子どもなりの工夫や努力、こだわりをもって取り組んだことを「認められたい」のです。だから、大人の考えた基準に達していなくても「褒めてほしい」と思ったり、さほど努力していないため大人に褒められても嬉しさを感じなかったりするのはです。ですから、私たち大人は、子どもの言動をよく見つめ、思いや願いを感じ取り認めてあげること＝「子どものものさし」ではかることが大切だと思います。最初に子どもといっしょにめあてや目標を立て、それがどこまで達成できたかを振り返ることは、子どもを認めるのに有効な方法かもしれません。

夏の水泳学習、米づくりの観察、飼育当番、はまっ子等に参加していた子を除けば、40日ぶりに会う子がほとんどです。子どもたちの話から、夏休みの宿題や自由研究から、心や体の成長を伺い、思いや願いを感じ取り、努力を認め、自信をもたせ、スマイルきりっ子を育てていきたいと思っています。本日から前期の残りが始まりました。また、来月、9月26日には「第6回きりっ子運動会」も控えております。今後も、子どもたちが元気に、安全・安心に過ごせますよう、保護者の皆様、地域の皆様のご支援とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。